

令和2年12月

まず古田土会計に相談してみよう
(失敗を少なくすれば会社はよく存る)

今年(2020)はコロナの1年でしたが、私は3,000社以上の中小企業を診てきて、「私達古田土会計に設備投資等で相談してくれていた」こんな失敗はしなかったの」と思ったことがいっぱいありました。事前に相談してくれたために大きな損失に存らなかった事例はいっぱいあります。一番多いのが財務に因する失敗です。代表的なものに不動産の購入があります。銀行より「今の家賃とほぼ同額の借入金の返済でよいので不動産を買わないかと勧め、借金返済が総額は自分のものに存るかと買ってしまうケースです。多くが中古物件なので購入価額の大半が土地の価額です。減価償却費が少ないうえ経費が少なく法人税等の税金が大幅に増えます。また借入金の返済期間は土地の購入なので20年以上に(なくては存る)存るのに20年以下で借りて、借入金の返済に苦しんでい村。古田土は日経トップリーダーで財務に因する記事を4年4ヶ月連載しています。去年の11月には「会社を潰す社長の財務勘違い」を出版し、今年の10月には三菱UFJ銀行が発行している「スクルト」という雑誌に今注目すべき本として取り上げられ、インタビューを受けました。財務に因する事はまず古田土会計に相談して下さい。次に相談して頂きたいのが、相結や事業承継に対する対策です。私達古田土会計はお客様に対する提案存るので値段が安く、会社側の立場に立って提案をします。銀行は金を貸すのが商売ですが貸付けをする提案をします。また銀行の紹介するコンサルタントは銀行の意向に沿った提案をし、高額報酬を請求します。セミナーや書籍を頼んだコンサルタントは、お客様がよく業界のことをよく知らないために、株価計算で100万円以上請求したり、持株会社の設立や不動産の売却等により多くの額を動かして、1,000万円以上の見積りが出たケースもありました。私達はその見積書を見せたい方についてびっくりしました。古田土会計の提案は社長貸付金が多くあり、業績がよく役員報酬も高額だったので、株価がゼロに存るくじりの役員退職金を貸付金と相殺し、株式を後継者に譲渡しました。会社の内容を理解し、会社の立場に立って提案するのが会計事務所です。私達古田土会計は、事業承継や相結対策をよくわかっている担当者が多くいるので、残念ながらい提案が出来ていないケースもあります。本当に申し訳なく思っています。まず古田土会計に声をかけて下さい。提案をします。その提案のあとで、銀行さんの提案、コンサルタントの提案を受けて下さい。またM&Aを検討したいときも必ず相談して下さい。会社の立場に立って検討します。私、古田土に相談してほしいのは経営に因する相談です。私と30年間の経営で多くの失敗をしてきました。しかし一般の経営者に比べてその数が少なかったか、37年連続増収、赤字は1度もなく、自己資本比率90%以上、無借金、自己資本額以上の金融資産を保有しています。今回のコロナでもビクともしません。私は一倉定先生や鍵山秀三郎さん等から経営と学ぶ実践してきました。財務体質がよいのは、公認会計士として会計を(2)学びお客様を指導し、失敗も多く見て来たから、理想となる財務体質を作り上げられました。経営は経営方針が一番大事なので、「人を大切にする経営計画書」によりよい社風づくり人づくりをしてきました。このような経営計画書を日本中に広めるために「経営計画書作成」合宿2時間、を毎月行なっています。おかげさまで人気が出て来年よりは月2回行ないます。受講料がお客様が9万円、一般の方は12万円存るので、他の経営計画セミナーより破格の安さです。私達は経営計画書を作成することによって中小企業の経営が少(でもよく存る)いことで働いている社員と家族が幸せに存るお手伝いをしたいのです。まず古田土会計の経営計画セミナーを受けなくてもいいですが、物足りない方はその後、高額なセミナーを受けられてよいと思ひます。まず古田土会計から始めましょう。古田土はお客様の相談を待っています。

R3年1月相談日、1月9日、1月30日、

古田土 満